

# 特定非営利活動法人 海洋音響学会

## 平成 30 年度（2018 年度）総会資料

### 通常総会・表彰式・懇親会

月 日 平成 30 年 5 月 23 日（水）

場 所 東京海洋大学（品川キャンパス） 楽水会館・大会議室

#### ◇第 15 回通常総会（通算第 46 回） (13 : 00 ~ 13 : 30)

##### 次第

1. 開会
2. 議長の選任
3. 審議事項
  - 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告及び決算について（資料 1～3, 別紙 1）
  - 第 2 号議案 平成 30 年度事業計画及び予算について（資料 4～5）
  - 第 3 号議案 名誉会員の推薦について（資料 6）
  - 第 4 号議案 役員辞任につき改選の件（資料 7）
  - 第 5 号議案 定款の変更について（資料 8）
4. 議事録署名人の選任
5. 会長挨拶
6. 閉会

#### ◇第 42 回表彰式 (13 : 30 ~ 13 : 50)

- ・ 顕功賞贈呈（別紙 2）
- ・ 名誉会員証贈呈
- ・ 論文賞贈呈（別紙 2）
- ・ 業績賞贈呈（別紙 2）
- ・ 中西賞関連（別紙 3）

#### ◇懇親会 (18 : 00 ~ 20 : 00)

## 平成 29 年度（2017 年度）事業報告（案）

## 1 全般状況

## (1) 会員の状況

区 分	平成 28 年度末	平成 29 年度末	備 考
名 誉 会 員	15 名	16 名	定期購読者： 4 機関（29 年度）
終 身 会 員	8 名	8 名	
通 常 会 員	287 名	290 名	
賛 助 会 員	29 社 44 口	29 社 44 口	

## (2) 第 14 回通常総会

平成 29 年 5 月 24 日（水）13:00～13:30

東京工業大学蔵前会館ロイヤルブルーホールにおいて出席者 191 名（内、表決委任者 65 名）にて開催した。

## 審議事項

## 議長の選任

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告，収支・監査報告  
（資料 1～3 参照）

第 2 号議案 平成 29 年度事業計画及び収支予算について  
（資料 4, 5 参照）

第 3 号議案 平成 29, 30 年度役員の選任について  
（資料 6 参照）

第 4 号議案 名誉会員の推薦について  
（資料 7 参照）

## 議事の概要及び議決の結果

## 議長の選任

司会者より，蜂屋弘之氏の議長選任を諮り，全員異議なくこれを承認した。

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告，収支・監査報告

議長より，平成 28 年度事業報告書案及び平成 28 年度収支・監査報告書を配布し，報告したところ，全員異議なくこれを承認した。

第 2 号議案 平成 29 年度事業計画及び収支予算について

議長より，平成 29 年度事業計画書案及び平成 29 年度収支予算書案を配布し，詳細に審議したところ，全員異議なくこれを承認した。

第 3 号議案 平成 29, 30 年度役員の選任について

議長より，理事の任期満了に伴い定款第 14 条に基づき，平成 29, 30 年度理事の選任について諮ったところ，全員異議なく次の者が理事に選任され，被選任者は，いずれもその就任を承諾した。

理事	赤松	友成	（重任）	理事	浅田	昭	（重任）
理事	甘糟	和男	（新任）	理事	太田	和彦	（重任）
理事	小笠原	英子	（重任）	理事	小河	慎二	（重任）
理事	越智	寛	（重任）	理事	川崎	良道	（重任）

理事	澤田 浩一	(重任)	理事	澤田 信一	(重任)
理事	土屋 健伸	(重任)	理事	南利 光彦	(重任)
理事	蜂屋 弘之	(重任)	理事	浜 芳典	(重任)
理事	松本 さゆり	(重任)	理事	向井 徹	(新任)
理事	森 和義	(重任)	理事	吉江 宗生	(重任)
理事	吉武 宣之	(重任)	理事	渡辺 好章	(重任)

同じく議長より、定款第 14 条に基づき平成 29, 30 年度の監事の選任について諮ったところ、全員異議なく次の者が監事に選任され、被選任者は、いずれもその就任を承諾した。

監事	後藤 英親	(重任)	監事	深見 明久	(重任)
----	-------	------	----	-------	------

また、次期理事候補者による投票の結果、会長候補に蜂屋弘之氏、副会長候補に渡辺好章氏及び川崎良道氏とした旨報告し、確認された。

#### 第 4 号議案 名誉会員の推薦について

議長より、定款第 6 条に基づき海洋音響に関する学問及び技術に関して功績顕著で海洋音響学会の目的達成に多くの貢献のあった遠藤信行氏を名誉会員としたい旨を諮り、審議の結果、全員異議なくこれを承認した。

### (3) 第 41 回表彰式

総会に引き続き東京工業大学蔵前会館ロイヤルブルーホールにおいて開催した。  
論文賞贈呈

以下の者に論文賞を贈呈した。

題目	深海用自動観測フロートによる南極域での音速構造長期モニタリング	
受賞者(所属)	後藤 慎平	(JAMSTEC, 筑波大学)
	土屋 利雄	(JAMSTEC, 東京海洋大学)

掲載誌 海洋音響学会誌, Vol. 42, No. 2, pp. 59-69, Apr. 2015

中西賞贈呈

以下の者に中西賞を贈呈した。

題目	AUV搭載用のパラメトリックサブトムプロファイラー開発と音響データの可視化手法の検討 - 1次波と2次波の減衰に関する考察 -	
受賞者(所属)	水野 勝紀	(東京大学)
	浅田 昭	(東京大学)
	片瀬 冬樹	(東京大学)
	永橋 賢治	(東京大学)
	浦 環	(九州工業大学)
	原口 強	(大阪市立大学)

掲載誌 海洋音響学会 2016 年度研究発表会 講演論文集, pp. 49-52, May 2016

### (4) 理事会

年度中 4 回開催し、会の活動と経理の状況を把握しつつ随時所要の対策を講ずるほか、総会の決定に従い本会運営の基本に関する事項を審議決定し、各委員会との連絡を密にして事業の円滑化を図った。

### (5) 執行理事会

理事会を補佐し、本学会の全体運営に関わる業務について効率的かつ十分な審議と迅速な執行を目的とし、年度中 5 回開催し、規程類の変更・制定、総務、会計に関する審議を行った。

## 2 事業の概況

事業内容は資料2「事業報告書」による。なお、詳細は別紙1による。

書式第 1 2 号 (法第 2 8 条関係)

## 平成 29 年度 事業報告書 (案)

平成 29 年 4 月 1 日から 平成 30 年 3 月 31 日まで

## 特定非営利活動法人 海洋音響学会

## 1 事業の成果

平成 29 年度は、特定非営利活動法人として次の事業を行った。

- 第 1. 海洋音響に関する学術調査研究事業として、「水中音響における可視化技術部会」および「全周ソナーの標準データフォーマット研究部会」を開催した。
- 第 2. 海洋音響に関する普及啓蒙事業として、研究発表会の開催、会誌の発行と、シンポジウム、談話会、講演会、技術講習会を開催したほかホームページを活用し情報の提供を行った。
- 第 3. 海洋音響に関する奨励事業として、前年度の優秀論文表彰をしたほか、優秀論文、優秀業績の表彰候補選考を行うと共に、中西賞の表彰推薦候補選考を行った。
- 第 4. 海洋音響に関する企画交流促進事業として、企画運営委員会を開催したほか、日本海洋工学会等と交流した。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
学術調査研究事業	「水中音響における可視化技術部会」を 1 回開催した。	11 月 6 日	石川県野々市市 白山市	25 人	海洋音響に関心のある者 約 40 人	301
学術調査研究事業	「全周ソナーの標準データフォーマット研究部会」を 2 回開催した。	6 月 20 日 8 月 24 日	東京都港区	25 人	海洋音響に関心のある者 約 30 人	62
普及啓蒙事業	会誌 166, 167, 168, 169 号を発行した。	4 月 1 日 7 月 1 日 10 月 1 日 1 月 1 日	法人事務所	19 人	海洋音響に関心のある者 約 450 人	3,298
普及啓蒙事業	「水中音響における可視化技術部会報告書」を出版した。「海洋音響の基礎と応用」を増刷した。	11 月 18 日	東京都目黒区	20 人	海洋音響に関心のある者 約 250 人	1,356
普及啓蒙事業	研究発表会を開催した。	5 月 24 日 ～25 日	東京都目黒区	20 人	海洋音響に関心のある者 約 250 人	926
普及啓蒙事業	シンポジウムを 3 回開催した。	12 月 13 日 2 月 19 日 (11 月 6 日)	東京都目黒区	10 人	海洋音響に関心のある者 約 40 人	294
普及啓蒙事業	談話会を 2 回開催した。	7 月 18 日 8 月 31 日	東京都目黒区 神奈川県横浜市	10 人	海洋音響に関心のある者 約 25 人	309

普及啓蒙事業	講演会を1回開催した.	9月28日	東京都港区	5人	海洋音響に関心のある者 約30人	82
普及啓蒙事業	「音響の基礎(全般)」をテーマに技術講習会を開催した.	12月5日 ~6日	東京都港区	6人	海洋音響に関心のある者 約60人	410
普及啓蒙事業	ホームページ運用を通じて活動内容を紹介し、海洋音響に関する情報を提供した.	随時	法人事務所	8人	一般市民 不特定多数	235
奨励事業	海洋音響に関する優れた研究開発成果を表彰した. 次年度に海洋音響に関する研究開発の奨励、優れた研究開発成果を表彰するための委員会を開催した.	5月24日 (表彰) 10月27日 2月14日 3月29日 (委員会)	東京都目黒区	12人	海洋音響の研究者 約10人	261
企画交流促進事業	企画運営委員会を4回開催すると共に、日本海洋工学会等関連団体との交流、行事の共催を行った.	4月18日 8月9日 10月13日 1月30日 8月1日 2月27日	東京都目黒区  東京都千代田区	25人	海洋音響に関心のある者 不特定多数	239

## 書式第13号（法第28条関係）

平成29年度 活動計算書  
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで特定非営利活動法人 海洋音響学会  
(単位：円)

科 目	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
1 受取会費		
通常会員受取会費	1,596,000	
賛助会員受取会費	7,920,000	9,516,000
2 事業収益		
(1) 学術調査研究事業収益	0	
(2) 普及啓蒙事業収益	798,905	
(3) 奨励事業収益	0	
(4) 企画交流促進事業収益	0	798,905
3 受取補助金		0
4 受取寄附金		0
5 その他収益		
雑収益	94,443	94,443
経常収益計		10,409,348
<b>II 経常費用</b>		
1 事業費		
(1) 人件費		
臨時雇賃金	61,000	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
人件費計	61,000	
(2) その他経費		
事務委託費	584,712	
消耗品費	43,806	
通信運搬費	479,615	
旅費交通費	811,670	
印刷製本費	3,628,363	
会議費	1,448,978	
謝金	710,000	
雑費	5,184	
その他経費計	7,712,328	
事業費計		7,773,328
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
事務委託費	2,593,859	
消耗品費	38,829	
通信運搬費	158,720	
旅費交通費	225,610	
印刷製本費	40,305	
会議費	150,482	
謝金	0	
雑費	23,876	
その他経費計	3,231,681	
管理費計		3,231,681
経常費用計		11,005,009
当期経常増減額		△ 595,661
<b>III 経常外収益</b>		
経常外収益計		0
<b>IV 経常外費用</b>		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 595,661
法人税、住民税及び事業税		0
前期繰越正味財産額		17,840,834
次期繰越正味財産額		17,245,173

## 平成29年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成30年3月31日現在

特定非営利活動法人 海洋音響学会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	11,140,194		
流動資産合計		11,140,194	
2 固定資産			
基本財産	6,536,020		
固定資産合計		6,536,020	
資産合計			17,676,214
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	413,041		
前受会費	18,000		
預り金	0		
流動負債合計		431,041	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			431,041
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		17,840,834	
当期正味財産増加額		△ 595,661	
正味財産合計			17,245,173
(うち基本財産)			(6,536,020)
負債及び正味財産合計			17,676,214



## 平成29年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成30年3月31日現在

特定非営利活動法人 海洋音響学会  
(単位:円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
学会手許金	71,818	
普通預金(みずほ銀行高田馬場支店)	9,798,503	
普通預金(みずほ銀行高田馬場支店・事務局)	273,838	
郵便振替(ゆうちょ銀行高田馬場支店)	996,035	
流動資産合計		11,140,194
2 固定資産		
基本財産		
定期預金(三菱UFJ信託銀行本店営業部)	6,536,020	
固定資産合計		6,536,020
資産合計		17,676,214
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	413,041	
前受会費(2018年度会費)	18,000	
預り金	0	
流動負債合計		431,041
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		431,041
III 正味財産の部		
繰越正味財産 (うち基本財産)		17,245,173 (6,536,020)

監査の結果、重要な点において適正に表示しているものと認める。

平成30年 4月 4日

監事 深見 明久 印

監事 後藤 英親 印

平成29年度正味財産17,245,173円は全額次年度に繰越すこととする。

## 平成29年度 計算書類の注記

## 1. 重要な会計方針

## (1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

## 2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科 目	学術調査研究事業	普及啓蒙事業	奨励事業	企画交流促進事業	事業部門計	管理部門	合 計
I 経常収益							
1. 受取会費	0	0	0	0	0	9,516,000	9,516,000
2. 事業収益	0	798,905	0	0	798,905	0	798,905
3. 受取補助金	0	0	0	0	0	0	0
4. 受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0
5. その他収益	0	0	0	0	0	94,443	94,443
経常収益計	0	798,905	0	0	798,905	9,610,443	10,409,348
II 経常費用							
(1) 人件費							
臨時雇賃金	9,000	49,000	3,000	0	61,000	0	61,000
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	9,000	49,000	3,000	0	61,000	0	61,000
(2) その他経費							
事務委託費	0	584,712	0	0	584,712	2,593,859	3,178,571
消耗品費	0	4,646	39,160	0	43,806	38,829	82,635
通信運搬費	1,873	477,742	0	0	479,615	158,720	638,335
旅費交通費	208,620	268,660	123,160	211,230	811,670	225,610	1,037,280
印刷製本費	0	3,628,363	0	0	3,628,363	40,305	3,668,668
会議費	113,113	1,213,824	94,381	27,660	1,448,978	150,482	1,599,460
謝金	30,000	680,000	0	0	710,000	0	710,000
雑費	0	3,456	1,296	432	5,184	23,876	29,060
その他経費計	353,606	6,861,403	257,997	239,322	7,712,328	3,231,681	10,944,009
経常費用計	362,606	6,910,403	260,997	239,322	7,773,328	3,231,681	11,005,009
当期経常増減額	△ 362,606	△ 6,111,498	△ 260,997	△ 239,322	△ 6,974,423	6,378,762	△ 595,661

## 3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	6,535,467	553	0	6,536,020
合 計	6,535,467	553	0	6,536,020

書式第 8 号 (法第 10 条・第 25 条関係)

## 平成 30 年度 事業計画書 (案)

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 海洋音響学会

## 1 事業実施の方針

平成 30 年度は、長期的展望に立って、海洋音響及びこれに関連のある諸科学の一層の振興を図るために、次の方針にしたがって活動する。

- 第 1. 海洋音響に関する学術調査研究事業を行う。
- 第 2. 海洋音響に関する普及啓蒙事業を行う。
- 第 3. 海洋音響に関する研究開発の奨励事業を行う。
- 第 4. 海洋音響に関する企画交流促進事業を行う。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	事業費 の 予定額 (千円)
学術調査研究 事業	「全周ソナーの標準データ フォーマット研究部会」を開 催する。	6 月 8 月 12 月	東京都 港区 兵庫県 西宮市	25 人	海洋音響に 関心のある者 約 30 人	300
普及啓蒙事業	会誌を定期発行する。	4 月, 7 月 10 月, 1 月	法人 事務所	20 人	海洋音響に 関心のある者 約 450 人	3,600
普及啓蒙事業	「海洋音響の基礎と応用」を 購入し、活用する。	10 月	法人 事務所	10 人	海洋音響に 関心のある者 約 450 人	500
普及啓蒙事業	水中音響に関する書籍の改 定について検討する。	3 月	東京都 目黒区	20 人	海洋音響に 関心のある者 約 250 人	100
普及啓蒙事業	研究発表会を開催する。	5 月	東京都 港区	20 人	海洋音響に 関心のある者 約 250 人	1,000
普及啓蒙事業	国際化を目指し外国人講師 を招き講演会を開催する。	6 月	東京都 目黒区	10 人	海洋音響に 関心のある者 約 50 人	300
普及啓蒙事業	シンポジウムを年 3 回程度, 談話会を年 3 回程度開催す る。	6 月, 8 月 10 月, 1 月 2 月, 3 月	東京都 目黒区	10 人	海洋音響に 関心のある者 延べ約 200 人	600
普及啓蒙事業	技術講習会を開催する。	12 月	東京都 目黒区	10 人	海洋音響に 関心のある者 約 50 人	300
普及啓蒙事業	ホームページを運用し、活動 内容を紹介し、海洋音響に関 する情報を提供する。	随時	法人 事務所	8 人	一般市民 不特定多数	300

<p>奨励事業</p>	<p>海洋音響に関する優れた研究並びに開発成果を表彰する。 海洋音響に関する研究の奨励、優れた研究開発成果を表彰するための委員会を開催する。</p>	<p>表彰:5月 委員会:随時</p>	<p>東京都港区 東京都目黒区</p>	<p>12人</p>	<p>海洋音響の研究者 若干名</p>	<p>600</p>
<p>企画交流促進事業</p>	<p>事業の企画会議の開催並びに、国際化に関する検討、日本海洋工学会等関連団体との交流、行事の共催・後援を行う。</p>	<p>随時</p>	<p>東京都目黒区 東京都千代田区 北海道函館市</p>	<p>25人</p>	<p>海洋音響に関心のある者 不特定多数</p>	<p>300</p>

## 書式第9号（法第10条・第25条関係）

平成30年度 活動予算書  
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで特定非営利活動法人 海洋音響学会  
(単位：円)

科 目	金	額	
I 経常収益			
1 受取会費			
通常会員受取会費	1,716,000		
賛助会員受取会費	7,920,000	9,636,000	
2 事業収益			
(1) 学術調査研究事業収益	0		
(2) 普及啓蒙事業収益	860,000		
(3) 奨励事業収益	0		
(4) 企画交流促進事業収益	0	860,000	
3 受取補助金		0	
4 受取寄附金		0	
5 その他収益			
雑収益	90,000	90,000	
経常収益計			10,586,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
臨時雇賃金	65,000		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	65,000		
(2) その他経費			
事務委託費	550,000		
消耗品費	403,000		
通信運搬費	609,500		
旅費交通費	1,150,000		
印刷製本費	3,137,500		
会議費	1,315,000		
謝金	660,000		
雑費	10,000		
その他経費計	7,835,000		
事業費計		7,900,000	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
事務委託費	2,600,000		
消耗品費	50,000		
通信運搬費	130,000		
旅費交通費	300,000		
印刷製本費	60,000		
会議費	150,000		
謝金	0		
雑費	10,000		
その他経費計	3,300,000		
管理費計		3,300,000	
経常費用計			11,200,000
当期経常増減額			△ 614,000
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 614,000
法人税、住民税及び事業税			0
前期繰越正味財産額			17,245,173
次期繰越正味財産額			16,631,173

## 名誉会員の推薦について(案)

海洋音響技術および海洋音響学会の発展に功績のあった下記の者を名誉会員とする。

飯田 浩二

## 役員辞任につき改選の件

1. 辞任理事 濱 芳典  
(辞任年月日 平成30年3月31日)
2. 改選理事(案) 内野 雅直

## 定款の変更について(案)

特定非営利活動促進法(平成29年4月施行)等の改正に伴い、特定非営利活動法人海洋音響学会の定款を以下の通り変更する。

新	旧
(公告の方法) 第53条この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。 <u>ただし、法第28条の2第1項に規定する貸借対照表の公告については、内閣府NPO法人ポータルサイト(法人入力情報欄)に掲載して行う。</u>	(公告の方法) 第53条この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。

## 平成 29 年度(2017 年度)事業内容

## ○ 研究発表会

(5/24, 25 東京工業大学 蔵前会館ロイヤルブルーホール)

特別講演 海洋ロボットと波動技術の応用

吉田 弘 (海洋研究開発機構)

優秀論文発表賞の贈呈:

ア. 講演の部

題 目 浅海域音響伝搬路における多重反射波干渉に対する Time Reversal 通信の  
機能分析

発表者 樹田 行弘 (海洋研究開発機構)

題 目 海面反射波変動のシミュレーション計算と水槽実験の比較

発表者 津久井 智也 ((株)IHI)

イ. ポスターの部 (ベストポスター賞)

題 目 ASV-AUV 間水中音響通信の研究

発表者 出口 充康 (海洋研究開発機構)

## ○ 談話会

第 1 回 (7/18 東京工業大学 蔵前会館手島精一記念会議室)

「結氷期を含む南極海における長期モニタリングから見えてきた音波伝搬の季節変化」  
後藤 慎平 (東京海洋大)

「深海探査用パラメトリックサブボトムプロファイラーの開発から実海域試験まで」  
水野 勝紀 (東大生研)

「国際会議報告 (OCEANS 2016 MTS/IEEE Monterey, USA)」  
松本 さゆり (港空研)

「第 5 回日米ジョイントミーティング」  
全体概要・水中音響・海洋音響学: 蜂屋 弘之 (東工大)  
水産音響: 澤田 浩一 (水産工学研)  
生物音響: 赤松 友成 (中央水産研)

第 2 回 (8/31 (株)IHI 横浜事業所ゲストハウス 大ホール)

電子情報通信学会超音波研究会, IEEE UFFC Society Japan Chapter と共催

主題: 水中音響, 一般

「造波水槽を用いた海面反射波変動の評価」 津久井 智也 (IHI)

「広角 PE 法により求めた太平洋中緯度域における伝搬波形の位相ずれの検討」  
峰島 湖隆 (神奈川大)

「骨を有する魚からの散乱波の周波数特性解析」 藤井 俊一 (神奈川大)

「小型潜水艇搭載用凸型音響レンズにおける音響整合層の効果についての基礎的研究」  
河原 宏幸 (防衛大)

招待講演:

「海流発電システムの開発～黒潮を利用した新しい発電技術～」  
長屋 茂樹 (IHI)

「深海底に設置された単一のハイドロフォンによる音源の位置推定に関する考察  
～相模湾初島沖音響観測データの解析に基づく～」 岩瀬 良一 (海洋研究開発機構)

「Time reversal による水中音響通信の研究～空間多重通信への適用と OFDM との性能比較  
～」 志村 拓也 (海洋研究開発機構)

「データ選択型 Rake 受信を用いた水中音響通信の実海域試験評価」  
馬淵 佑作 (三菱電機特機)

「一体型非接触超音波肉厚計測装置の試作」 佐藤 智夫 (港空研)

招待講演：

「超音波研究を振り返って」 遠藤 信行 (神奈川大)

○ シンポジウム

第1回 (11/6 金沢工業大学 扇が丘キャンパス・八束穂キャンパス)

「医療用 3D 超音波画像と 3D ソナー画像の比較」 佐藤 智夫 (港空研)  
「医用超音波・UWB レーダ境域におけるアダプティブビームフォーミング技術と開口合成技術を用いたイメージング」 奥村 成皓 (京都大)  
「各種音響レンズの特性」 土屋 健伸 (神奈川大)  
「水中画像化ソナー用音響レンズについて」 奥山 智尚 (艦艇装備研)  
「音響ビデオカメラを用いた水中生物・植物情報の可視化」 水野 勝紀 (東大生研)  
「海洋音響における周囲雑音イメージング」 森 和義 (防衛大)  
「港湾監視システムと音響可視化」 小川 誠 (日本電気)  
「海洋における音波伝搬の可視化」 鶴ヶ谷 芳昭 (山陽精工)  
「防災音響学の試み」 土田 義郎 (金沢工業大)  
「解剖、音響および心理の複合領域に渡る音声生成の研究」 河野 佐代子 (金沢工業大)  
「シーラカンスと二重反転プロペラ」 佐藤 隆一 (金沢工業大)

第2回 (12/13 東京工業大学 蔵前会館くらまえホール)

国立研究開発法人 科学技術振興機構 後援

主題：音を利用した海洋生物の遠隔的観測技術

「CREST 海洋生物多様性領域について」 小池 勲夫 (東大)  
「海底ケーブル型観測システムによる大型鯨類鳴音の観測と判別」 川口 勝義 (海洋研究開発機構)  
「海底ケーブル型観測システムによる大型鯨類鳴音の地図化」 西田 周平 (海洋研究開発機構)  
「自動録音装置による複雑種の地図化」 赤松 友成 (中央水産研)  
「受動的音響技術による魚類の判別と可視化」 松尾 行雄 (東北学院大)  
「能動的音響技術による魚類の観測と判別」 金城 篤史 (沖縄高専)  
「音響技術の組み合わせによる複雑種の地図化」 今泉 智人 (水産工学研)

第3回 (2/19 東京工業大学 蔵前会館ロイヤルブルーホール)

2017 年度水中防衛技術学会 (UDT) 等報告

「UDT Europe 2017 総括報告」 上野 安基親 (石川製作所)  
「センサ及び処理」 川崎 良道 (沖電気工業)  
「UUV 等」 南利 光彦 (日立製作所)  
「MAST Asia 2017 ソナー関係等」 長倉 博 (三菱重工)

○ 講演会

外国人講師による講演会

(9/28 東京工業大学 キャンパスイノベーションセンター東京 多目的室1)

「Enhancing JMSDF involvement in new sonar algorithm development based on true open architecture sonars」 Mr. Ralf SIEGFRIED (Wärtsilä ELAC Nautik GmbH)

○ 技術講習会

第27回講習会

(12/5,6 東京工業大学 キャンパスイノベーションセンター東京 国際会議室)

主題：海洋音響の基礎 (全般) テキスト：「海洋音響の基礎と応用」

「音響の基礎」「ソナー入門」「音源からの放射」 蜂屋 弘之 (東工大)  
「海洋とその音響特性」「音波伝搬」 遠藤 信行 (神奈川大)



「送受波器」「反射・散乱と残響」「海中の雑音」「信号の検出と処理」「水中音響計測」  
鎌田 弘志 (元会長)

○ 部 会

水中音響における可視化技術部会

第9回 (11/6 金沢工業大学 扇が丘キャンパス・八東穂キャンパス)

主題：最終報告会

(2017年度 第1回シンポジウムとして開催)

全周ソナーの標準データフォーマット研究部会

第5回 (6/20 東京海洋大 品川キャンパス)

話題提供

「ICES WGFAST 2017 報告」

白木 里香 (古野電気)

「マルチビームエコー積分法の紹介」

奥西 哲 (古野電気)

第6回 (8/24 東京海洋大 品川キャンパス)

話題提供

「IMR フォーマット案 (旧版, 新版) の変更点等について」

奥西 哲 (古野電気)

○ 日本海洋工学会

総会

2回 (通期第19回 10/11, 第20回 2018/3/19)

理事会

3回 (通期第34回 5/23, 第35回 10/11, 第36回 2018/3/19)

運営委員会

6回 (第173回 5/23, 第174回 7/5, 第175回 10/11,  
第176回 11/30, 第177回 2018/1/26, 第178回 3/19)

海洋工学パネル

2回 (第49回 8/1, 第50回 2018/2/27)

海洋工学シンポジウム 1回 (第26回 3/6~7)

○ 委員会

企画運営委員会 4回 (4/18 東工大, 8/9, 10/13, 2018/1/30 東大生研)

表彰委員会 3回 (10/27, 2018/2/14, 3/29 東工大)

編集委員会 8回 (4/13, 6/6, 7/14, 9/11, 10/11, 12/14, 2018/1/20 東京海洋大,  
3/12 東工大)

## 平成 30 年度 (2018 年度) 表彰一覧表

## ○顕功賞

我が国の海洋音響技術の歴史に顕著な功績を残した下記の者

鎌田 弘志

## ○論文賞

- ・ 題目 Echolocating bats use future-target information for optimal foraging
- ・ 受賞者 (所属)
 

藤岡 慧明	(同志社大学)
合原 一究	(同志社大学)
角谷 美和	(同志社大学)
飛龍 志津子	(同志社大学)
- ・ 掲載誌 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America, Vol. 113, No. 17, pp. 4848-4852, 2016
  
- ・ 題目 Semi Self-Motion Compensation for a Near-Range Synthetic Aperture Sonar
- ・ 受賞者 (所属)
 

深見 明久	(東京大学)
浅田 昭	(東京大学)
- ・ 掲載誌 海洋音響学会誌, Vol. 43, No. 3, pp. 126-133, 2016

## ○業績賞

- ・ 件名 中周波数広帯域スプリットビーム魚群探知機の開発  
(推薦に関わる仕事をした期間: 2015 年~2017 年)
- ・ 担当者 (所属)
 

大西 由利子	(古野電気株式会社)
王 勇	(古野電気株式会社)
大西 祐司	(古野電気株式会社)
田中 希未子	(古野電気株式会社)
松村 隆史	(古野電気株式会社)
鈴木 伸雄	(古野電気株式会社)

○中西賞

・題目 ASV-AUV 間水中音響通信の研究

・受賞者（所属）

出口 充康	(海洋研究開発機構)
樹田 行弘	(海洋研究開発機構)
目黒 浩二	(海洋研究開発機構)
渡邊 佳孝	(海洋研究開発機構)
志村 拓也	(海洋研究開発機構)
越智 寛	(海洋研究開発機構)

・掲載誌 海洋音響学会 2017 年度研究発表会 講演論文集, pp. 31-32, 2017